

## クルマの燃費表示を行う際の留意点について

最近の広告宣伝においては、燃費に関する訴求を行うケースが多くなっており、中には規約違反に該当する、また該当するおそれのあるものも見受けられることから、規約の遵守徹底と不当表示の未然防止を目的として、燃費表示に関する基本的な考え方を示すとともに、実際の表示例を基に、問題となる表示例と正しい表示例をまとめました。

各社におかれましては、規約に基づく正しい表示を行っていただきますようお願いいたします。

なお、当協議会では、今後表示例を入れたマニュアルを作成し、普及活動を行う予定です。

### ◀燃費表示に関する基本的な考え方▶

燃費に関する表示を行う場合は、公式テスト値（10・15モード燃費やJC08モード燃費）又は公的第三者によるテスト値通りに、一般的に走ることができるかのように誤認されないこと  
よう表示すること

#### ◀ポイント①▶ ⇒ 【関連表示例Ⅰ】

燃費を表示する場合は、公式テスト値（10・15モード燃費、JC08モード燃費）又は公的第三者によるテスト値を表示し、かつ、「同テスト値である旨」をその数値の直近に、かつ、明りょうに表示すること

表示した数値（公式テスト値又は公的第三者によるテスト値）は、「一定の試験条件での数値であり、実際の数値は走行条件等により異なる旨」の付記説明を燃費表示との関連が明確になるよう、かつ、明りょうに表示すること（やむを得ず、表示した数値と付記説明を離れた場所に表示する場合には、表示の方法について特に注意すること。別頁、裏面その他、他の説明に埋没した場合は明りょうとはいえない）

#### ◀ポイント②▶ ⇒ 【関連表示例Ⅱ】

「20km/ℓ走れる！」や「20km/ℓ走れる？」など、誰でもその表示した燃費値通りに一般的に走ることができる、また、走ることができるかのように誤認されるような表示は行わないこと

#### ◀ポイント③▶ ⇒ 【関連表示例Ⅲ】

◎公式テスト値（10・15モード、JC08モード燃費）通りに走ることを前提とした（公式テスト値を基に計算した）、ガソリン代や走行可能距離、ガソリン消費量等の計算値の表示は行わないこと

**【表示例 I】 ⇒ 公式テスト値又は公的第三者によるテスト値に基づく表示**

《問題となる表示例》

新型スカーレットは 燃費24.0km/ℓ  
1.8X (1800cc・5AT・2WD)

※  
※10・15モード(国土交通省審査値)。※10・15モード(国土交通省審査値)は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

＜問題点！＞  
燃費の表示と10・15モード燃費である旨の表示が離れている、また、付記が小さいため、その趣旨が伝わらない

＜問題点！＞  
燃費と付記説明との関連付けがなく、また付記説明が明りように表示されていない

《正しい表示例 A》

スカーレットは  
15V-Cの場合

**24 km/ℓ (※)**  
(10・15モード燃費)

※10・15モード(国土交通省審査値)は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

＜表示のポイント！＞  
燃費に関する付記説明を明りように表示すること

＜表示のポイント！＞  
公式テスト値と同テスト値である旨の表示は必ず直近に明りように表示すること

《正しい表示例 B》

新型スカーレット 1.8X (1800cc・5AT・2WD)

燃料消費率 24.0km/ℓ※ (10・15モード燃費)

※10・15モード(国土交通省審査値)は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

＜表示のポイント！＞  
やむを得ず、付記説明を数値と離れた場所に表示する場合は、「※」を入れる等して関連付けるとともに、付記説明を明りように表示すること

**【表示例Ⅱ】 ⇒ 公式テスト値通りに走れるかのような表示**

**◀問題となる表示例 A▶**

＜問題点＞

公式テスト値通りに一般的に走ることができるかのように表示している

新型スカーレット（1.8X）は1ℓで24.0 km※走れる低燃費！

※10・15 モード(国土交通省審査値)は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

＜注意点！＞

公式テスト値はあくまでも一定の試験条件下での数値であることから、「走れる」、「走れるかも？」など、その数値通りに実際に走ることができるかのように誤認される、また走ることを期待させるような表現は行わないこと

**◀問題となる表示例 B▶ ⇒ ECO ラリーの結果（自社によるテスト結果）の表示**

スカーレットECOラリー

スカーレットオーナー様が実証！

全行程 42 km

驚異の最高燃費 28.1 km/ℓを達成！※ 中野サンプラザ  横浜スタジアム

(スカーレットオーナー様完走 15 台の平均燃費は 23.4 km/ℓ)

※上記燃費達成は、スカーレットオーナー高鳥様のマルチ燃費計に表示された区間平均燃費です。

※スカーレットのカタログ上燃費値は 24.0 km/ℓ（10・15 モード国土交通省審査値）

【表示例Ⅲ】 ⇒ 公式テスト値に基づく計算値の表示

◀問題となる表示例 A▶

＜問題点！＞

10・15モード燃費通り走ることを前提とした計算をしている

新型スカーレットなら低燃費で毎日のガソリン代を節約できます！

■年間 24,000 km (=2,000 km/月) 走行の場合 (ガソリン代 1ℓ = 160 円換算)  
新型スカーレット (1.8X) 24,000 km ÷ 24.0 km/ℓ × 160 円 = 約 160,000 円  
旧型スカーレット (1.8X) 24,000 km ÷ 18.7 km/ℓ × 160 円 = 約 205,348 円

1 年間のガソリン代が約 45,348 円※2 もお得です！！

※1 10・15 モード (国土交通省審査値) は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。  
※2 算出した金額はあくまでも計算上の数値であり、お客様それぞれの運転状況等により異なりますので、あくまでも目安として下さい。

新型スカーレット

24.0 km/ℓ※1  
10・15 モード  
国土交通省審査値

旧型スカーレット

18.7 km/ℓ※1

◀問題となる表示例 B▶

新型スカーレットは低燃費でガソリン代がお得！

■年間 24,000 km (=2,000 km/月) 走行の場合  
新型スカーレット (1.8X) 24,000 km ÷ 24.0 km/ℓ = 約 1,000ℓ  
旧型スカーレット (1.8X) 24,000 km ÷ 18.7 km/ℓ = 約 1,283ℓ

1 年間のガソリン消費量が 283ℓ も違ってきます！！

※10・15 モード (国土交通省審査値) は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。

新型スカーレット

24.0 km/ℓ※  
10・15 モード  
国土交通省審査値

旧型スカーレット

18.7 km/ℓ※

＜注意点！＞

燃費自体が一定の試験条件下での数値であって、走行条件等により異なるという前提のものであることから、これを基に算出したガソリン代等の計算値の表示は、「燃費は走行条件等により異なり、計算値も走行条件等により異なる」等の付記説明の表示をしたとしても、計算値通りになるかのように消費者に誤認されるおそれが強いため、行わないこと